

寒冷地形談話会通信

2002 年度 2 号 [2003 年 3 月 1 日発行]

<http://www.geo.ees.hokudai.ac.jp/kanreichikei/>

冬を越して、春が近づいてきました。皆様いかがお過ごしでしょうか。寒冷地形談話会通信 2002 年度第 2 号をお届けします。
本号は、2002 年夏から現在までの会務に関する報告を中心に、今月末に開催される日本地理学会での総会についてもご案内します。

編集: 佐藤 剛・荻谷愛彦

事務局: 佐藤 剛・荻谷愛彦(千葉大), 澤田結基(北海道大), 池田 敦(筑波大), 天井澤暁弘(明治大), 黒田真二郎(都立大)

連絡先: 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 千葉大学大学院自然科学研究科 寒冷地形談話会 代表 佐藤 剛

gsato@earth2.s.chiba-u.ac.jp FAX 043-290-2846(佐藤実験室)

会費振込: 郵便振替 東京 00100-9-171342 寒冷地形談話会

【2002 年度 夏の学校】(報告)

2002 年 10 月 26-28 日に、2002 年度夏の学校(日本地理学会氷河作用研究グループ共催)を白馬岳周辺で開催しました。



今回は松川北股入の氷河堆積物の観察を中心としながらも、神城盆地や大所川流域において最新氷期の氾濫原堆積物や湖成堆積物、大規模崩壊堆積物などを見学し、それぞれの堆積相の相違点・共通点が何かなどを議論しました。案内者を含め 26 名の参加がありました。

また夜間小集会が開かれ、石井正樹・三浦英樹・高田将志各会員による発表が行われました。

案内は、石井正樹(北陽建設)、長谷川裕彦(明治大)、黒田真二郎(都立大)、佐藤 剛・荻谷愛彦(千葉大)各会員が担当しました。

写真付レポートを寒冷地形談話会ホームページに掲載しています。ぜひ、ご覧下さい。

【2002 年度第 1 回例会】

2002 年 12 月 21 日、第 1 回例会を国立極地研究所で開催しました。

年末にもかかわらず、合計 15 件の発表がありました。また来聴者は約 30 名に達し、制限時間を越えた質疑応答もなされました。例会後の納会にも多数の方が顔を出して下

さり、場を変えての活発な意見交換が夜更けまで行われました。

発表要旨を寒冷地形談話会ホームページに掲載しています。ぜひ、ご覧下さい。

今後も 12 月例会を開いてゆく計画ですので、今回発表されなかった方も来年はぜひ話題提供をお願いします。



【2002 年度 第 2 回例会】

2003 年 2 月 15 日、第 2 回例会を国立極地研究所で開催しました。

例年どおり、第 2 回例会は 2002 年度に卒業論文・修士論文を提出した会員による成果発表会としました。合計 8 名の方が発表に応じて下さり、質の高い研究紹介がなされました。また来聴者も約 25 名に達するなど、例年になく盛況な卒論・修論大会となりました。

発表要旨は 2003 年度にホームページに掲載する予定です。

発表者と演題は以下のとおりです。

- 1) 栗下勝臣(立正大学・地球 学部) 地すべり堆積物による谷の埋積とその崩壊過程 - 静岡県庵原郡由比町、槍野 地すべりの事例 -
- 2) 中村友香(筑波大学自然学類 学部) 凍結融解による

礫の垂直変位に関する実験的研究 - 淘汰構造土の形成における意義 -

- 3) 伊達 武(筑波大学自然学類 学部) スイスアルプスにおける周氷河性舌状堆積地形
- 4) 阿部正洋(筑波大学自然学類 学部) スイスアルプスにおける解氷に伴う氷食谷の地形変化
- 5) 縫村崇行(東京都立大学地理学科 学部) 立山・御山谷における氷河地形と氷河前進期
- 6) 小松哲也(早稲田大学教育学部地理歴史専修 学部) 木曽御嶽山におけるハイマツおよび高山植物の分布と地形・地質の関係
- 7) 宮崎裕子(京都大学防災研究所 修士) 2000 年神津島近海地震とその後の降雨による崩壊発生の地質・地形的要因について—流紋岩質溶岩と火砕物からなる斜面の崩壊の例として
- 8) 黒田真二郎(東京都立大学地理科学専攻 修士) 表層堆積物の断面構造からみた白馬岳山稜における風衝・風背斜面の削剥量と形態変化

【2003 年度総会開催のお知らせ】

2002 年度の会務報告と 2003 年度の会務予定などについて話し合う機会を設けました。決算・予算報告などの他、今年の「夏の学校」開催地や本会設立 30 周年記念講演会などについても広く意見を交換したいと思います。また会費値下げや運営体制に関する事務局からの提案事項もあります。今後の会の運営方針の大部分は総会出席者の決議で決定されることが多いので、一人でも多くの会員の出席をお待ちしています。3 月 30 日午後 4 時、日本地理学会（東京大・本郷）でお目にかかりましょう。

日 時:2003 年 3 月 30 日 16-17 時

会 場:日本地理学会会場内指定場所。地理学評論 3 月号掲載のプログラムや当日の掲示に注意して下さい。決まり次第、寒冷地形談話会ホームページに掲載します。

主な議題(報告・審議事項)

1. 2002 年会務報告
2. 2002 年決算報告
3. 2003 年会務案 i) 例会, ii) 夏の学校, iii) 事務局運営会議, iv) 30 周年記念講演会(日時・会場等)
4. 例会発表者および事務局運営会議出席者への旅費補助について。
5. 電子会員年会費の値下げ改定について
6. 事務局体制の変更について

議題等資料は当日配りますが、必要な方には議題詳細を事前にお送りすることも可能です。事務局・佐藤 剛までどうぞ。

やむなく欠席される方は委任状(電子メール可)を事務局に出して下さい。未提出の場合は議事進行一切を議長に一任されたということで進めさせていただきます。

【重要なお知らせ】

事務局担当者(苅谷)の不在に伴い、従前の連絡先を変更します。

事務局連絡先として、千葉大・苅谷のメールアドレスと FAX 番号をメーリングリストや各種案内でお知らせしてきました。3 月上旬から月末まで苅谷が出張するため、2 月 20 日より連絡先を千葉大・佐藤 剛に切り替えております。苅谷のアドレスに送って下さった電子メールは自動転送されませんので、事務局への連絡時にはご注意ください。ただし郵便物は「千葉大学自然科学研究科 苅谷愛彦気付寒冷地形談話会」で送って下さい。ご協力お願いします。

新連絡先は、

佐藤 剛(千葉大・自然科学研究科)

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33

[佐藤 剛 gsato@earth2.s.chiba-u.ac.jp](mailto:gsato@earth2.s.chiba-u.ac.jp)

FAX 043-290-2846(佐藤実験室)

です。

【メーリングリスト・電子掲示板を活用下さい】

本会ではメーリングリストを開設していますが、投稿数がなかなか伸びません。会員への情報提供や、情報収集には ML の活用が有効です。メール会員に登録すると誰でも ML へ投稿でき、メンバーからの投稿も受信できます。巡検・集会案内、新刊紹介、露頭や海外の情報、公募情報、会員および事務局への意見など何でも結構です。なお、システムの性質上、添付ファイルは使えません。もちろん、従来どおり「寒冷地形談話会通信(郵送版)」への投稿も大歓迎です。

ホームページには電子掲示板も開いています。ML 以外の一般の方も見ることができます。専門用語を巡る議論など、なんでもご投稿下さい。

ホームページの内容は事務局で随時更新しています。web は会員以外も閲覧できるメリットを活かし、広く宣传したい記事・話題の投稿をお待ちしています。文章はプレーン・テキスト形式(.txt)で、画像は圧縮した .gif や .jpg で担当者(澤田:jury@ees.hokudai.ac.jp)に送って下さい。

【新会員募集中】

今年度から学部生以下の会員年会費(電子メール)を無料にしました。

新規加入申込は、1) 氏名・所属校、2) 連絡先(自宅・学校)、3) ML 送信先のメール・アドレス、4) 興味を持っている分野や地域、を記入した電子メールまたは FAX を事務局(千葉大・佐藤 剛)にお送り下さい。

登録は手作業で行っているため、数日を要することがあります。また容量制限の問題上、携帯電話のアドレスを登録しないようおすすめします。